

三小としょだより

令和元年5月15日 調布市立第三小学校長 辻 久恵
 図書室 司書 岡部砂百合

5月は運動会の練習で忙しく、なかなか図書室にこられないこと
 もあると思いますが、図書室はいつでも開いていますので、中休み・昼
 休みに本の貸し出しに来てください。ホッとしたいときにもどうぞ！



?こんなときどうする?

図書室でかりた本、うっかりよごしてしまった! やぶれちゃった! こんなとき
 にはどうしたらよいでしょう?

よごしてしまった!

えんぴつなど、かんたんに消せるよごれは自分で消してみてください。ペン
 やえのぐなど、かんたんに消せないよごれは、本をかえすときにおしえてくだ
 さい。

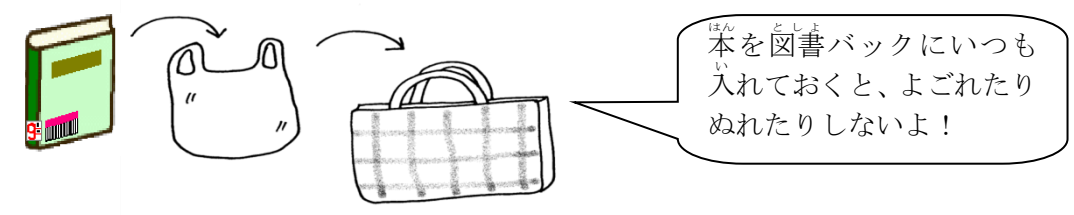
やぶれてしまった! ページがとれてしまった!

やぶれたり、はずれたりしたところをなくさないように注意して、図書
 先生のところまでもってきてください。自分でセロテープなどでなおさないで
 ください。



ぬれてしまった!

学校の中でぬれてしまったら、すぐに図書室にもってきてください。そのま
 まにしておくと、本がシワシワになってよめなくなってしまう。ま
 まだよみおわっていない本でも、ぬれてしまったらすぐに図書室にかえしてく
 ださい。



「ドは読書のド♪」

第61回「こども読書週間(4月23日~5月12日)」

(主催：読書推進運動協議会)

この期間は「こども読書週間」です。毎年、この時には、図書館や
 本屋さんなどで、こどもの読書に関するイベントも行われます。今年の
 標語は「ドは読書のド♪」でした。かまえないで、楽しく気軽に読書を
 楽しみたいですね。さて、運動会の練習で疲れている時は、大人も子ども
 もも手軽に楽しめる読書はいかがでしょう。本のなかには、色々な世界
 が大きく広がっています。本を開いて見たこともない世界をのぞいてみ
 ましょう。

子どもたちにもっと本を!との願いから、「こどもの読書週間」は1959年(昭和34年)
 にはじまりました。もともとは、5月5日の「こどもの日」を中心とした2週間(5月1日
 ~14日)でしたが、2000年より、今の4月23日(世界本の日・子ども読書の日)~
 5月12日になりました。

小さいときから本を読む楽しさを知っていることは、子どもが大きくなるためにもとても大
 切なことです。「こどもの読書週間」のあいだ、図書館や本屋さん、学校などでは、読み聞か
 せや人形劇などの楽しい行事がいっぱい行われます。「こどもの読書週間」は、大人が本を子
 どもに手わたす週間でもあるのです。

公益社団法人 読書推進運動協議会ホムダより



とらいあぐるのおはなし会

6月5日(水)(中休み 図書室にて)

※令和元年、第一回のおはなし会です。お楽しみに。



うんどうかい 運動会スローガン



どりょく たの
努力しよう！楽しもう！
しんじだい た
新時代へふみ出そう！

♪もうすぐ運動会、そこで運動会やスポーツの本を集めてみました。♪

『**むしたちのうんどうかい**』（得田之久/文 童心社）

いろいろな虫の特徴をいかした競技がくりひろげられて、
おもしろいよ。



『**どろぼうがっこうだいうんどうかい**』（かこさとし/文/絵 偕成社）

「どろぼうがっこう」の運動会の種目は、「ドル箱リレー競争」
にせれわたし競争・刑事発見ゲーム・抜き足体操、などなど、
おもしろいプログラムばかり。



『**あしてエライ!**』（中川ひろたか/文 保育社）

歩く・走る・ジャンプする、足って大切ですよね。



『**1ねん1くみ1とうしょう**』（後藤竜二/作 ポプラ社）

くろさわくんで、すごいんだよ。くろさわくんがはしると、
かぜがおきるんだよ。プワアーッとあつくて、あせくさいかぜ。

「どけ、どけーっ！」と、くろさわくんは、ひじをはげしくよこに
ふって、いつもーとうしょう。

『**ペンギンおうえんだん**』（斉藤洋/作 講談社）

ペンギンおうえんだんは、どんなところにもでかけていって、相手
かまわずおうえんします。おうえんなんて、されるばかりじゃつままない・・・。



『**やまんばあさんの大運動会**』（富安陽子/作 理論社）

オリンピック選手より元気で、プロレスラーより力持ち。
296歳のスーパーおばあさん、運動会に現れる！



『**ぼくのジイちゃん**』くすのきしげのり/作 校正出版社

運動会、お仕事で出られないおとうさんにかわって、ぼくの
ジイちゃんが走るようになった。大丈夫かな？ところが・・・。

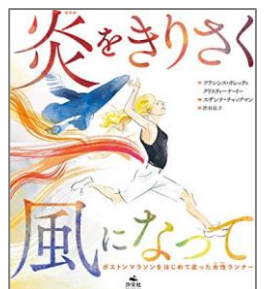


『**ねこじゃら商店へいらっしゃい**』富安陽子/作 ポプラ社

第三話、「靴を買いにきた男の子の話」。明日の運動会のために運動靴を
買いにきた男の子が、怪しげなお店で買った靴は、韋駄天印の運動靴。とにかく
この靴を買って帰った男の子は・・・。

『**炎をきりさく**』フランシス・ポレッティ、クリスティーナ・イー/作 汐文社

いまでは毎年、12000人以上の女性が参加するボストンマラソン。
たった50年くらい前には女性は参加することすらできなかった。
その歴史の最初の一步をふみだしたボギー・ギブの物語。



♪ほかにもいろいろ！♪

『**みどパン協走曲**』黒田六彦/作 BL出版

『**走れメロス**』太宰治/作 戸田デザイン研究所

『**走れ、セナ!**』香坂直/作 講談社

『**ジェミニーと走る夏**』エイドリアン・フォゲリン/作ポプラ社

『**世界一のランナー**』エリザベス・レアード作 評論社

『**スポーツの名前のなぞ**』国松俊英/文 岩崎書店

